40 テーマ別 古文と漢文の融合問題

標準問題

出題傾向
- 古文と漢文の融合文では、古文も漢文も同じ題材について述べていることが多い。
- 古文と漢文の内容がほぼ同じなのか、異なっているのかを読み取ろう。

1 次の漢文とその内容について述べた古文を読んで、後の問いに答えなさい。〈富山〉

陸績

孝悌皆天性　人間六歳児
袖中懐二緑橘一　遺レ母報二含飴一

陸績、六歳の時、袁術といふ人の所へ行き侍り。袁術、陸績がために、菓子に橘を出せり。陸績、これを三つ取りて、袖に入れて帰るとて、袁術に礼をいたすとて、袂より落せり。袁術、これを見て、「陸績殿は、幼き人に似あはぬこと」と言ひ侍りければ、あまりに見事なるほどに、家に帰り、母に与へんためなりと申し侍り。袁術、これを聞きて、「幼き心にて、かやうの心づけ、古今まれなり」とほめたるとなり。さてこそ、天下の人、かれが孝行なることを知りたるとなり。

（注）孝悌＝父母に孝行をつくし、年長者に従うこと。
橘＝みかんの一種。
含飴＝口に含ませる飴（ここでは母が与える飴）。

(1) ——線①「袖中懐緑橘」とありますが、緑橘をどうすることですか。「袖中懐」に当たる部分を、古文の文章中から五字で抜き出しなさい。

(2) ——線②「報」と同じ意味の「報」を含む熟語を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 広報　イ 報恩　ウ 時報　エ 報道

(3) 古文の文章中には会話文であることを示す「　」が抜けている箇所があります。その会話文を抜き出し、初めと終わりの三字を書きなさい。

～

(4) ～線「かやうの」を現代仮名遣いに直しなさい。

(5) 袁術の陸績に対する思いの変化を表したものとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 歓迎 → 不快 → 感心
イ 歓迎 → 感謝 → 感心
ウ 歓迎 → 不快 → 同意
エ 歓迎 → 感謝 → 同意

2　次のAは梅を題材にした古文で、Bは同じく梅を題材にした漢詩です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

A　あるとき、県居翁の家に文会ありて、梅の詞を人々にも作らせ、翁も作られたりけるに、①翁の文、きはめて梅をそしりて、「梅は唐国より伝はれるものにして、いと古くは和歌にもよめる事なく、『万葉集』に見えたるがはじめなり。枝さしこはごはしく、冬の中より我は顔に咲き出でてかしこがりたるさま、桜の我が国に生ひ初めて、にほひやかなるには、いたく劣れり。」と口をきはめていひ落とされたるを、門人、独り言のやうにいへるやう、「梅の文を書かんとて　おとしめたるは、②梅の為おもてぶせぞかし。」といへり。

〈清水浜臣「泊沼筆話」より〉

江戸時代の国学者　漢文の会　漢文　文章　中国　非難し　枝ぶりがごつごつしていて　得意顔　立派なようにふるまう　華やかで美しい　これ以上ないような言い方で非難なさったこと　書こうとして　見下していること　名誉を傷つけることだよ

B　梅花　王安石

墻角数枝梅　凌レ寒ヲ独リ自ラ開ク　遥カニ知ル不二是レ雪一ナラ　為レ有二暗香来一ルガ

〔書き下し文〕

墻角数枝の梅
寒を凌ぎて独り自ら開く
遥かに知る［　　］と
暗香の来たる有るが為なり

〔現代語訳〕

垣根のかどの数本の梅の枝。
寒さに耐えて、ひとり花を咲かせている。
遠くからでもわかる、それが雪ではないと。
これはほのかな香りが漂ってくるためであるよ。

〈「王安石集」より〉

(1)　線「不二是レ雪一ナラ」を書き下し文に直し、［　　］に当てはまる言葉を全て平仮名で書きなさい。

［　　］と

(2)　線①「翁の文」とありますが、翁が梅について述べた内容として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

［　　］

ア　他の国から伝来したものであること。
イ　古い和歌でも題材として詠まれていたこと。
ウ　春には食べることのできる実をつけること。
エ　花が立派で華やかすぎること。

(3)　線②「梅の為おもてぶせぞかし」とありますが、門人は文会における翁のどのような態度に不服を感じていますか。二十字以内の現代語で書きなさい。

(4)　AとBを学習した生徒が発表した内容をまとめた次の文章の［　　］ⓐ～ⓓに当てはまる言葉を、ⓐはAから十字以内、ⓓはBの漢詩の中から二字で抜き出しなさい。また、ⓑは漢数字を、ⓒは色を表す漢字を書きなさい。

AとBを読み比べてみると、Aの古文では、梅が冬の時期から得意顔に咲き始める様子を「［ⓐ　　］」であると非難しているのに対し、Bの漢詩では第［ⓑ　　］句のように、逆境に負けない梅の強さを魅力として表現している。また、Bの漢詩では［ⓒ　　］色の梅の花の美しさだけでなく、嗅覚で捉えられる梅のもつ魅力を「［ⓓ　　］」という言葉で表している。梅についてそれぞれ違った視点から捉えていることがわかり、とても興味深かった。

ⓐ［　　］
ⓑ［　　］
ⓒ［　　］
ⓓ［　　］

アドバイス

古文と漢文の融合文では、古文と漢文で共通する話題が何かを捉えることが大切。同じ話題に対して古文と漢文に共通する部分や異なる部分を確認して、それぞれの内容を対比させながら読み取ろう。